

# 小長井の話し言葉

1889年（明治22年）小長井村ができ、1966年（昭和41年）小長井町となる。

2005年（平成17年）合併により、諫早市小長井町となる。

昭和40年度第19回小長井中学校卒業生だった私達は一昨年古希を迎えた。故郷の言葉で話すうちに、懐かしさと消えゆく言葉に気が付き、何とか残そうと思いついた。時間に追われず、私たちは、ゆっくりと収集に力を入れた。自分たちが話していた言葉や親、兄弟、近所、友達、祖父母、など、聞いた言葉や覚えている言葉をみんなで出し合った。郷土誌も参照した。私的な収集なので、学問的にはわからない。あと何年かすれば、すたれていく言葉もたくさんあることでしょう。ここに、収集に関わった人たちの名を記しておきます。

（小長井には、四つの小学校がありました。田原小学校、遠竹小学校、小長井小学校、長里小学校です。その四つの小学校が集まり、小長井中学校に通っていました。）

小柳 文代（大分）

酒井 リツ子（編集・広島）

新宮 房子（長崎）

田川 由美子（小長井）

富田 美保子（小長井）

中尾 すみ子（表紙・小長井）

西崎 美佐子（小長井）

松田 夏美（横浜）

横田 久美子（埼玉）



## 小長井の話ことば

	言葉（前後含む）	意味すること	使い方やわけ
あ+	あいば	そうならば	あいばそぎゃんすうか
+	あいどん	それはそうだけど	あいどん、でけんばい
*	あいどん	あの人たち	あいどんに 言え
*	あぎ	あご	あぎん、かいか
*	あったか	熱い 暑い	なべんふたはあったかけん、きいつけろ
*	あばおろし	新品	
*	あめがたか	雨がなかなか降らない	
*	あんびゃ	具合 あんばい	よかあんびゃになったね
	あすこそうこ	あっちこっちすこしばかり	あすこそうこ掃除した
+	あぎゃんこつ	あんなこと	あぎゃんこつ、言いよったばい
	あったらしか	もったいない	ほんなこてあったらしかねー
	あかんたろう（やか んたろう）	アブラゼミ	あかんたろうの鳴きよる
	あせがる	あわてる	そぎゃん、あせがんな
	あせくる	かきまぜる、けちらかす	せっかくきれいにしたとにあせくって
	あせこ	あせも	あせこん、かいかー
	あえとる	落ちている	銀杏のあえとる、汚れのあえとる
	あらんこと	違うこと、余計なこと	あらんことばっかい、言うな
	あととい（あととり）	後継者	長男があとといたい
	あいかい	あれから	あいかい何年たつかね
	あがしこ	あれだけ	あがしこゆうたとにまーだわからんと
	あすけ	あそこに	あすけあるばい
	あるしこ	あるだけ	あるしこもってきて
	あたいかたい	なんもかも全部	台風であたいかたいつくえた
+	あんしゃん	お姉さん	
+	あんじゃもん	お兄さん	あんじゃもんなよか人ばい
	あわい	あの人	あわいのおらした
	あもよ	こわい怪物	あもよん出てくっぞ
+	あさぎゃ	あさり貝	アサぎゃほりいこい
+	あめがた	平たい飴棒	飴がた買うて
	あまきび	さとうきび	種ん黒うなったらあまきびんうまか
+	あんね（あいやん）	姉さん	あんねはどこね
+	あんまい	あまり	あんまいわからん
+	ありゃ	あれは	ありゃなんね
+	あまんな	たわむれるな	座敷であまんな

+	あきじゃ	商売	あきじゃもきつかね
+	あせがる	焦る	あせがらんば間に合わん
+	あゆる	落ちる 汚れがおちる	かわらに上ったらあゆっぞ
+	あくせん	くしゃみ	あくせんばっかいしとったろ
+	あくしゃうつ	悪口いう	えっとあくしゃうちよる
い+	いもんこ	里芋	田原んいもんこはうまかね
+	いっちょん	ちっとも、ひとつも	いっちょんすかん
	いびんくち	揖斐（水門）の口	長里干拓地の水門 有明海に面した所
	いのえ、いのうて	荷負う、かつぐ	こん荷物ばいのえ
	いこだい	行こうよ	あいば、いこだい
	いかえん	行くことができない	灯籠じゃ、いかえん
	いわえん	言うことができない	そぎゃんこつ、いわえん
	いかんした	床の下	いかんしたでもぐって遊んだ
	いわした	おっしゃった	じいちゃんのいわしたばい
	いやしか	口ぎたない	あん人、いやしかね
+	いんま来い	いつか来い、あとで来い	いまよかけん、いんま来い
+	いっちょかれる	おいていかれる、置き去りにされる	ぼうとしとったら、いっちょかるっよ
	いっかぶる	被る	泥水ばいっかぶった
	いっちょ	一つ	アメばいっちょくんしゃい
	いっちょびら いっちょら	たったひとつのもの	いっちょびらん服着て来たばい
	いっこぼす	こぼす	よそみするけん、いっこぼした
	いじくる	触りまくる	あんまいいじくると うっくゆっぞー
	いつでんよか	いつでもいいよ	いつでんよかけん、きんしゃい
	いたらんこつばっかいして	よけいなことばっかりして いたずらばっかりして	わりや、いらんこつばっかいすんな
	いらんこつばゆうな	余計なことは言うな	わりや、いらんこつばっかい言うな
+	いんにゃ	いいえ	いんにゃ、そぎゃんこつなか
	いいよらす	言ってるよ	わいのことば、いいよらすと
	いまごい	今頃	いまごいゆーったちゃ間に合わん
	いんだく	抱く だっこする	赤ちゃんばいんだいって
	いごごたる	行きたい	一緒にいごごたる
	いなまき	ごぎ	いなまきひろげんしゃい
	いろいろ	入ろう	家にいろいろ
*	いしわりどん	石工	丁場じゃいしわりどんのおらす
*	いっこくびより	はっきりしない天気の様子	
*	いっち	最も 一番	
*	いっとぎゃ（がい）	いっしょに	

*	いっぴゃー	一杯 いっぱい たくさん	
+	いっせき	皆	いっせきそろた
	いがみ	生まれた赤ちゃんの見舞い	いがみにいく
	いら	毛虫 (椿などの木につく)	いらにさされてかぶれた
	いん	犬	いんのなきよる
	いを	魚	いを取りいこい
う	うーばんぎゃか	いいかげん	うーばんぎゃかぼってん、よか人たい
	うーざけのみ	大酒飲み	うーざけのみゃ、えすかねー
	うーざら	大きい皿	煮しめをうー皿に注げ
	うさっぴゅか	慎重さがない	うさっぴゅかこつばっかいしてならん
	うったおるっ	たおれる	天気んゆうして、うったおるってすっ
	うてあう	相手になる、相手する	うてあいんしゃんな、やぐらしか
	うっくゆる	壊れる	ほらー、うっくえたー
	うしてんしゃい	捨てなさい	よっそわしか、うしてんしゃい
	うんじ	お尻をかかにつける座り方	うんじすわり
	うんぼさん	年取ったおばあさん	わいげんうんぼさんなげんきかね
	うまかもん	おいしいもの	うまかもんばくいたかねー
	うもうなか	おいしくない	こんしゃーはうもうなか
	うっかんぐる	取れてしまう	鍬の柄がうっかんげた
	うっかける	責務を回す	人にうっかけてばかり
	うったまげた	たいそう驚いた	きれか人におうてうったまげたばい
+	うんが	貴様が	うんが言うこた、わからん
*	うーか	多い	あんたんほうがうーかばい
*	うーごつ	たいへん 大事	うーごつした
*	うりいー	雨降り	よかうりいーになったね
	うっしゃぐる	壊れる つぶれる	せっかくつくったんばうっしゃいだ
え+	えんち	自分の家、我が家	えんちきんしゃい
+	えすか	おそろしい	真っ暗でえすかー
+	えっと (なか)	あまり (ない)	もう、えっとなかばい
*	えついかけ	土塀の竹組みをすること	
	えくらい のんだくれ よったくれ	酔っ払い	ひどうえくろうてかえってきたばい
	えーしたらしか	びっくり	おもいのほかえーしたらしかばい
	えっざし(えずらし)	恐ろしい	えっざしか崖ばい
お	おいげ (ん)	我が家	おいげん米はうまかー
+	おさん (の) (な)	おまえさん	おさんの声は太かあなた
+	おっちゃん	おとうさん	わいげんおっちゃんな、おらすな?
+	おっかん	おかあさん	おっかんもいっしょに行こで
+	おめく	叫ぶ	そぎゃん、おめきんしゃんな

	おんちゃん	おじさん	おんちゃんなかえらしたね
	おっばんさん	仏前にそなえるご飯	おっばんさんばあげたね
	おらす	いる	ばあちゃんな、おらすね
	おどみゃ(み)	私は(私たちは)	おどみゃ 知らんばい
	おぼえよんしゃる	成績が良い	よう、おぼえよんしゃると
	おさえろ	教えろ	黙っとくけん、おさえろ
	おちゃご	法事	おちゃごにまるぼーろぼそなゆっと
	おえん	縁側	おえんば拭いてくいろ
	おえとる	生えている	わらびのおえとる
	おんしゃる	いらっしゃる	かあちゃんな、おんしゃるねー
	おっとろしか	恐ろしい	どろがみさんのおっとろしかー
	おろちて	急いで	おろちて帰った
	おとろゆっ	老化する 朽ちる	こん屋根もおとろえたばい
+	おい	私 僕	おいもわいもいっしょたい
	お(う)っちゃける	落ちた	おっちゃけたもんな、食うな
	おめし	ごはん	今夜んおめしはなんね
+	おらっさんなたー	いらっしゃいませんか	こんにちは、おらっさんなたー
	おんぶくれた	溺れた	川でおんぶくれたつばい
	おうこ	荷負い棒	おうこでいのうてゆくばい
+	およけんさい	失礼します、さよなら	また明日、およけんさい
	おかたなこつ	たいしたことない	御馳走のお礼に、おかたなこつばいと返事する
	おき	まきなどの燃えさし 熾	おき炭で炬燵をする
	おはぐろ	お歯黒	既婚のよめごが歯を黒くそめた
	おんばん	ばあちゃん、ひいばあちゃん	おんばんのおらすとね
	おばん	兄さん	おばんなかえらしたね
	おばっちゃん	年配の婦人	隣のおばっちゃん
+	おがみだろ	かまきり	おがみだろ、みたね
	おずむ	目が覚める	赤ちゃんのおずんだばい
	おくもじ(おこもじ)	漬物	おくもじ、すいとらす
	おろいか	程度が低い	おろいかしなもん
	おうどぼう	乱暴者	おどんの学年の男どみゃ、おうどぼう
	おどんが	我々が	おどんが仲間はよかひとばっかい
	およごし	白和え	およごし、うまかばい
+	おぶか	重い	カバンのおぶか
	おっしょる	折る	枯れた木のおっしょれた
	おっとる	奪う	よかもんばおっとられた
*	おとこうし(こつてうし)	雄牛	

*	おなごうし (うのうし)	雌牛	
*	おめたち	思いつく	おめたってでてきたばい
	おつけ	味噌汁 汁物	おめしにおつけ
か	がね	かに	がねといぎゃ、いこい
	かっき	根のついた切り株	開墾すつと、かっきのどっさい出たばい
	かちがらす	カササギ	かちガラスの巣ば見つけた
	かたし	ツバキ	かたしの実ば拾いよった
	かつれる	がつついとる、飢えとる	みんな貧乏でかつれとった時代
	かんげ	髪の水	かんげば引っ張られた
	かんじん	物もらい、貧乏人	おどみゃかんじんかんじん
	がた	干潟	がたねり行こで
	かまごや	台所	かまごやはけむたか
	かます	蒲簀 吠	ござを二つに折って縫ったいれもの
	がんば	ふぐ	がんばんごつ、ふくるんな
	がんじゅか	元気か	がんじゅかもんにゃかなわん
	かんぼこ	かまぼこ	かんぼこば買うて来い
	かんにん	ごめんなさい	いらんこと言うてかんにんね
	かまれた	刺された	蚊にかまれた
	かいか	かゆい	蚊にかまれてかいかー
	かさくれ	できもの	わりゃ、よう、かさくれんでくつとね
	がっばい	気落ちする	試験に落ちてがっばいした
	がま (あば)	川の中、石積みの室	がまはウナギのねどこたい
	がねぶ	山ぶどう	がねぶはうまかねー
	がられる	怒られる	じいちゃんにがられた
	からう (かるて)	背負う	赤ちゃんばかるうたとよ
	かえった	卵からうまれる	ひよこん、かえったばい
	かがる	くさむしりをする	はたけん草ばかがって
	かえっけん	帰ります	もうかえっけんね
	かすれとる	傷ついとる	どこでかすれたとねー
	かせする	手伝う	あんたもかせしんしゃい
	かてて	入れて 加えて	私もかててくんしゃい
*	かがいつく	からまりつく すがりつく	ようやく届く
	かつつくれ	傷物 外れもの	こんみかんにゃ、かつつくればい
	かつがつ	片端から	かつがつしんしゃい
	かまぶたかぶせ	釜蓋かぶせ	結婚の時、家の入口で釜の蓋をかぶせられ、「ちょっと待たれい、よめごどの」と口上をかけられる
	かたちんば	そろってない	靴下のかたちんばたい

	～かん (いくとかん)	行きますか	一緒にいくとかん
	かすくりゃ	あまりもん 余計なもの	こん かすくりゃが
*	かずむ	においをかぐ	
*	かたこんご	肩くみ	
*	かずゆっ かんずっ	数を数える	
き	きゃあなえた	弱ってしまった、くたびれた	畑耕してきゃあなえた
	きゃあまぐる (めぐろ)	気絶した	あもよにあって、きゃあまぐれた
	きゃーきえた	消えた	炭のきゃー消えた
	きゃーくされ	腐れ者 罵って言う言葉	こんきゃーくされが!
	きゃーくたぶるっ	くたびれた	今日んしごとはきゃーくたぶれた
	ぎやしこ	これだけ	ぎやしこしかなかとね～
	きつか	しんどい	きつか仕事ばっかいしてきた
	きびしょ	急須	きびしょでお茶入れて
	きびる	くくる つなぐ	紐ばきびってくんしゃい
	きんど	庭先	きんどにだいか来た
+	きばいよらす	働いてる	畑できばいよらす
	きんしゃい	いらっしゃい	こっちきんしゃい
	きやんな	来るな	こっちきやんな
	きんかんぶ (きんたんぶ)	カナブン	きんかんぶ取り行こ
	きなめ	ゴキブリ	きなめん出た
	きのどっか	気の毒だ	きのどっかばい
	きんこ	柔らかい石	セメントや石の上に字や絵を描いた
	きもん	着物	そん着物なよかねー
	ぎっちゃんちゃん	シーソー	ぎっちゃんちゃんに乗ろう
+	ぎゃあけ	風邪	ぎゃあけんひつuita
	～ぎんと	～ならば	そいぎんと (た) 行きたい
*	きによ (一)	昨日	
*	きんなか	黄色い	
く+	くちなわ	へび	くちなわんおった
+	くど	台所炊飯所にある火を炊く所	くどに羽釜を置いてご飯を炊く
	くべる	火を炊く	まちっと くべんしゃい
	～くんしゃい	～してください	まってくんしゃい
	くらすっぞ	なぐるぞ	そぎゃんことゆうとくらすっぞ
	くいろ	ください	そいばくいろ
	くいやして	やりくりして	どがんでんくいやしてがんばるばい
	くそ	糞	鼻くそ
	くるわるっ	ひどく怒られる	じいちゃんかい くるわれた

	くらわるっ(れる)	噛みつかれる、刺される	蚊にくらわれた
	くじる(ほじくる)	爪でほじる	鼻くそをくじる
	ぐぜる	むずかる、ぐずぐずいう	ぐぜってばっかいおって、困った子
	くりとすっ(る)	すねる はぶてる(はぶつつ)	
	(はたけん) くり	畑などの周り	くりに豆を植えたばい
	くぼたん	道路(土)のへこみ	くぼたんに足ばひっかけた
*	くね(くいね)	垣根	
*	くるる(くるっ)	やる 与える	
け	けっとばす	けりとばす	ゆうこときかんとけっとばすぞ
	けったくられた	けりとばされた	けったくられて痛かった
	けったぐろうて	けりあばれて	けったぐろうて布団ば着とらん
+	けすかい	ついさっき	けすかいしたばい
	げにゃかなわん	負ける	なんぼしてもげにゃかなわん
*	～けん	～から ～ので	
*	けんけん	片足跳び	
こ+	こけ	ここに	こけきんしゃい
	こまんか(ちょか)	小さい	こまんかもんにやさしか
	こらす	いらっしゃる	お客さんなこらしたね
	こえだめ	肥をためる場所	肥ダメに落ちた
	こえ桶	肥を入れた桶	肥桶いのうて畑行く
+	ごっとい	いつも	ごっとい怒っとらす
	こじける	寒くてこわばる、しびれる	寒うて手のこじけた
	こちょわいか	くすぐったい	足のうらは、こちょわいか
	こすか(つばい)	ずるい(やつ)	いつでん こすかつばい
	こまんかこつ	取るに足りないこと	こまんかこつばいうな
	ごもっちゃん	ままごと	ごもっちゃんして遊ぼ
	ごめ	奉納する付属品 それを含めて盆正月に本家や親類に持って行く品物	(コメ、ろうそく、線香など)
	ごえっさん	お坊さん	ごえっさんのこらすけん片づけろ
	ごっくさん	神前に供えるご飯	ごっくさんは三角握りの形
	ここいやすか	安心できる 優しい 気楽	ここいやすか人ね
	こさえる	下処理する 造る	魚ばこさえて
+	ごんぼ	ごぼう	ごんぼほいぎゃ行こう
	こさぐ	削る そぎ落とす	ごんぼば、こさぎんしゃい
	ごつつう	ご馳走	ごつつうけぎゃいこい
+	こぎゃん	こんな	こぎゃんこつ
	こんけん	来ないから	待とってんこんけん、行こか
	(しー) ごったん	どんぶり	走ってもごったんばっかり



	こづまっとる	積んである	たきもんのこづまっとる
	こちゃぐる	くすぐる	こちゃぐられて こちょわいか
	ころびぎゃ	赤貝	浜にころびぎゃといにいごたる
	こーしゅ こしゅう	唐辛子	こんこーしゅ、からかー
	ごたやみ ごちゃや すみ	体休み 休息	ようきばったけん、ごちゃ休みたい
	こよにゃ (な)	こんなに	こよにゃどっさいもろた
	こたゆっ	重荷になる 負荷がかかる	こん仕事はこたゆっばい
+	こずく (こーずく)	咳する	よう、こうづきよったね
+	ころっと	みんな、全部	ころっと忘れとった
+	こいはてた	困り果てた	草とりゃこいはてた
	こせっぴ	ニイニイゼミ	蟬の中で一番ちいさいせみ
*	こい	これ	
*	こぶ	蜘蛛	
*	〜ごと	〜のように	
*	こんにゃ	今夜	
さ+	さいばさ	ところで	さいばさ、どがんすっとね
+	さかしゅうならした	赤ちゃんを産んだ 元気に なった	さかしゅうならしてうれしかね
+	さるく	歩き回る	そこんたいば さるこうか
	さなぼい (り)	田植え後の打ち上げ	さなぼいにきんしゃい
	さばく	髪をとかす	ぼさぼさしたかんげばさばきんしゃい
	ざまなか	みっともない	ざまなかこつすんな
	さばけとる	手際よい	なんでんかんでんさばけとらす
	さぶなか	味が薄い	こんおつけ、さぶなかー
	さんくらがえり	まえまわり	布団の上でさんくらがえりした
	さね	種	しいかんさねは出せよ
	さくず	ぬか	竹ん子はさくずでゆがけ
	させっぼっぼ (させ ぼ) (させぶ)	しゃしゃんぼ	させっぼっぼは山ん中にあるばい
*	さかだて	回復 元に戻る	あの人はもうさかだてしーきらんさん ばい
し	しかぶる	おもらしする	小便ばしかぶった
	しょんなか	しかたない	しょんなかことばゆうな
	しっとんしゃる	しっている	なんでんしっとんしゃる
	しんしゃい (んな)	しなさい しなさんな	よかておもうたら しんしゃい
	しおで	出汁	こんいおは、よかしおでんずっと
	しょうけ	たけかご	しょうけに入れる
	じゅっくい (り)	びっしり	じゅっくいぬれた

+	しいとらす	好いとらす	みんなしいとらすよ
+	ししゅうか	可愛らしい	どがんでんししゅうかね
+	しなな、しいべた	尻	しななを叩く
	しんによす (しんのす)	尻の穴	
	じゅくんか	腹黒い	えっざし、じゅくんかね
	じゅったんぼ	泥水	じゅったんぼにはまる
	じゅずんだま じゅうれんだま	数珠玉	じゅずんだまであそぼー
	しっちょんちょん	短い 足りない 小さい	そんスカートはしっちょんちょん
	しゃいでんなか	軽々とできる	さかあがりはしゃいでんなか
	しーきらん (しわえん) しーきる	できない できる	裁縫はしーきらん (しわえん) しーきる
	しゃあみやあ	よけいなおせわ	やぐらしか、しゃあみやあすんな
	じえ (ぜ) んもち	お金持ち	あん人はじえんもちたい
	～しゃん	～さん	〇〇しゃん
	しらじ	知らないで	そぎゃんこともしらじ
	しんぶして	節約して がまんして	しんぶしてくらす
	しれーっとして	素知らぬ顔して	しっとつとにしれーっとしとんしゃる
	しらっさん	知ってない	わいのこた、しらっさんばい
+	じゃーこん	大根	じゃーこんば食う
+	じょい	草履	じょいはいて歩く
	しょたれて	塩垂れて、薄汚れて	しょ垂れて帰ってきんしゃった
	jeeべた	地面	jeeべたに座る
	しごつ	したこと (仕業)	そりゃー、あん子のしごつたい
	じんべん	よくもまあ	じんべんでけたね
	じゃけん	だから	そいじゃけん、言うたろが
+	しゃっち (が)	是非	しゃっちが買うてという
	しいか	すっぱい	みかんのしいかー
	じゃがたろ	じゃがいも	じゃがたろばほるばい
+	しめし	おむつ	しめしばあらえ
	しまいわ (や)	打ち上げ	こんにゃ、しまいわすっけん
	しいか	すいか	しいかのうれたばい
	しょい (の実)	醤油 (の実)	醤油の材料、もろみ
+	しゅうごたなか	したくない	勉強はしゅうごたなか
	しいら	空っぽ	かわむいたら、しいらやった
	したぎ	家畜の敷き藁に糞尿がまじったもの 肥料にする	
	しゃー (しゃあ)	おかず	よかしゃー(しゃあ) のなかね

+	しいとらす	好いとらす	みんなしいとらすよ
+	ししゅうか	可愛らしい	どがんでんししゅうかね
+	しなな、しいべた	尻	しななを叩く
	しんによす (しんのす)	尻の穴	
	じゅくんか	腹黒い	えっざし、じゅくんかね
	じゅったんぼ	泥水	じゅったんぼにはまる
	じゅずんだま じゅうれんだま	数珠玉	じゅずんだまであそぼー
	しっちょんちょん	短い 足りない 小さい	そんスカートはしっちょんちょん
	しゃいでんなか	軽々とできる	さかあがりはしゃいでんなか
	しーきらん (しわえん) しーきる	できない できる	裁縫はしーきらん (しわえん) しーきる
	しゃあみやあ	よけいなおせわ	やぐらしか、しゃあみやあすんな
	じえ (ぜ) んもち	お金持ち	あん人はじえんもちたい
	～しゃん	～さん	〇〇しゃん
	しらじ	知らないで	そぎゃんこともしらじ
	しんぶして	節約して がまんして	しんぶしてくらす
	しれーっとして	素知らぬ顔して	しっとつとにしれーっとしとんしゃる
	しらっさん	知ってない	わいのこた、しらっさんばい
+	じゃーこん	大根	じゃーこんば食う
+	じょい	草履	じょいはいて歩く
	しょたれて	塩垂れて、薄汚れて	しょ垂れて帰ってきんしゃった
	jeeべた	地面	jeeべたに座る
	しごつ	したこと (仕業)	そりゃー、あん子のしごつたい
	じんべん	よくもまあ	じんべんでけたね
	じゃけん	だから	そいじゃけん、言うたろが
+	しゃっち (が)	是非	しゃっちが買うてという
	しいか	すっぱい	みかんのしいかー
	じゃがたろ	じゃがいも	じゃがたろばほるばい
+	しめし	おむつ	しめしばあらえ
	しまいわ (や)	打ち上げ	こんにゃ、しまいわすっけん
	しいか	すいか	しいかのうれたばい
	しょい (の実)	醤油 (の実)	醤油の材料、もろみ
+	しゅうごたなか	したくない	勉強はしゅうごたなか
	しいら	空っぽ	かわむいたら、しいらやった
	したぎ	家畜の敷き藁に糞尿がまじったもの 肥料にする	
	しゃー (しゃあ)	おかず	よかしゃー(しゃあ) のなかね

	せせり (い)	ぶゆ ぶと	せせいかい、くらわれた
*	せわなし	心配いらない	
そ	そぎゃんこつ (なか)	そんなこと	そぎゃんこつなかよ
	そこまめ	ピーナッツ	そこまめ、うまか
	そうつく	うろつく	そぎゃん そうつくな
	そいぎんにゃ (た)	そうならば	そいぎんにゃ、よかごとせんね
+	ぞうたん	冗談	
+	ぞうのわく	腹が立つ	
*	そずっ	すりへる	
*	ぞろびく	引きずる	
た	だご	団子	はっちゃんだご
	たいーて	大変	たいーてびっくいしたよ
	だいね	誰ね	あん人、だいね
	たちんわるか	性質がよくない	おーどぼうのたちんわるか
	たやましか	いらつく	いんにゃもう、たやましか
	だらんめ	タラの芽	春、柔らかい新芽を食する
	だくまんちょ	川エビ	だくまんちょば捕まえた
	たいかぶる	(大) おもらしする	まーたたいかぶっとる
+	たきもん	たきぎ	たきもんばくべんしゃい
	だんじゃなか	とてもではない	覚ゆうちゃ、だんじゃなか
+	たまげた	驚いた	急に出てきてたまげたばい
+	たんなか	たんぼ	たんなかにいくばい
	たぎる	沸騰する	釜ん湯のたぎりよるばい
	だんきゅ	らっきょう	だんきゅんとれたけん、つけんば
	だんぼ	肥溜め	だんぼにおっちゃけた
	たばこのみ	休憩すること	たばこのみしゅうで
	たなえ	稲の苗床の狭い田んぼ	たなえで苗取り
	たのかん	タヌキ	たのかんがだますとよ
*	たく	煮る	おめしばたきんしゃい
*	たろみ	つらら	さむかったけんたろみのさがった
ち+	ちっとばかい	少しばかり	ちっとばかいないどんおすそわけたい
	ちびーっと	ちよっと	ちびーっとでよかけん、くんしゃい
	ちゃーらぎ	平貝	ちゃーらぎんはしらはうまかね
	ちんじゅ	縮れ毛、天然パーマ	髪のちんじゅかて言われた
	ちけ	産後のちけ、血が頭に昇る	ちけんきたばい、養生せんば
	ちょうば	丁場、石切り場	帆崎石を切り出すところ
	ちゃーらげる	平らげる	全部 ちゃーらげた
	ちゃーね	上がりの間	座敷の手前の部屋
*	ちょうまき	つむじ	ちょうまきん二つある

つ	つ	かさぶた	つ、のとれたばい
	つら	顔	よごれたつらばふきんしゃい
	つっかけ	サンダル	つっかけんひんぬげた
	つーえなこつ	いらんこと	つーえなこつばっかい言うな
	つけもん	漬物	こんつけもん、うまかー
	つかっとる	十分、味が染みている	こんじゃーこんな、ようつかっとる
	つんころす	退治する	蚊ばつんころせ
	つんぬかる	ささる	とげのつんぬかった
	つんので	連れだつて	つんのでいきよつたね
	つんなめ	追いつけ	はようつんなめ
	つんぶるう	はたく	つんぶるうてみんしゃい
	つんくじる	ほじくる、つねる	つんくじられていたかつた
	つまがる	つま先立ちする	つまがってみんしゃい
	ついじゃっか	つりシャツカ	甲殻の柔らかいシャコ
	つばな	茅	春、柔らかい白い中身が子供のおやつ
	づくづくっしょ	つくつくほうし(せみ)	づくづくっしょの鳴きよる
	つんなみよめご	およめさんの介添え	つんなみよめごに選ばれた
	つくらんば	つくらなければ	べんとうばつくらんば
	つくろだい	つくりましょう	あいば、つくろだい
	つむ	髪を切る	かんげんばつんだつねー
	つぐ	よそおう	ご飯をつぐ
+	つんほげた	穴が開いて破れた	セーターのつんほげて穴が開いた
+	つくら	ふところ	つくらに手を突っ込む
	つのもし	カプトムシ	つのもしといぎゃいこい
*	つば(つびゃ、つづ)	だえき	つばはくな
て	てご	竹で編んだ入れ物	浜てご持ってかきうちに行く
	てっぼんたま	出て行って戻らない人	わいがえん父ちゃんなてっぼんたまたい
	てれんばれん	ふらふらと	てれんばれんすんな
	でび	集落の一斉仕事日	明日はでびいかんばでけん
	てんま	伝馬船	小さな魚とりの船
	でくっと	できる	こめいった仕事もでくっとばい
+	てんげ	手ぬぐい	てんげで拭け
+	てばしこ	すばやく	てばしこしんしゃい
*	~でけん	できない	そぎゃんこたでけん
と	どけ	どこに	どけいきよつとね
+	どんく	カエル	どんくの鳴きよる
	どすくら	うそ	どすくらばっかい言うな
+	どっさい	たくさん	どっさいもろた

	どんぼつ	とびはぜ	どんぼつんとびよった
	どくすわる	座り込む	どくすわって動かん
	とっととー	取っておく	うまかもん、とっととー
+	どろがみさん	かみなり	どろがみさん、えすかね
	どんばら	大きな腹 突き出ている腹	どんばらさんな、臨月ばい
	どくペー	六兵衛、はっちゃんの加工品	粉を練ってすり出して湯がいて食べる
	とぎ	伽	死者のそばで夜を明かす
	どろ	土	泥ねいぎゃいこか
	どうろこうろ	まあまあ	どうろこうろいきとるばい
	とーるっと	転ぶ	石んあって、とーれたつばい
	ととしか	不器用、あわてんぼう	あん人 ととしかねー
	とえろ (といえろ)	取り入れろ	洗濯もんばとえろ (といえろ)
	とんお	十 (10)	あいやんととんおちがう
	とんこづら	おでこ	とんこづらんでとっと
	とっぽてご	竹で編んだ首のある入れ物	魚とりやウナギ取りに持って行った
	どがんしてん	どうしても	どがんしてんすーごたっと
	どべる	すべる	どべって転んでけがした
	どうねんかい	同窓会	ことしゃ、同年会ばすうで
	とんこづく (とごゆっ、とごえる)	調子に乗る、いい気になる (主に子どもに対して使う)	いつまっでん、とごゆんな
+	とぜんなか	寂しい	一人でとぜんなか
+	どぎゃ(が) んでんこぎゃ (が) んでん	どうでもこうでも	どぎゃんでんこぎゃんでんなつとばい
	どがんすつと (どぎゃんすつと)	どうするの	後始末はどぎゃんすつと
	どっかいすっ どっきりすっ	胃もたれする	はっちゃんばよんによこつ食べてどっかいした
*	とーばた	たこ (あげ)	
*	どーわろ (どーがろ)	かまわぬ	そぎゃんこた どーわろ
*	~どん	~でも	あいどん、そいどん
*	どんけろ	どけろ	じゃまやっけん、どんけろ
な	なか	ない	なかもんな なか
	なして	どうして	なして くれんとね
	なんばしよっと	何をしているの	なんばしよっとねー
	なきんしゃんな	泣かないで	そぎゃん なきんしゃんな
	なきべす (なきべそ)	泣き虫	こまかときから なきべすばい
	なーんもなかばってん	なにもないけれど	なーんもなかばってん、お茶なつとんのみんしゃい

	～なたあー	～ですね (ねーあなた)	そぎゃんたいなた～
	なかとばい	ないよ	そいはなかとばい
	なからんば	ないならば	こめんなからんばかりてこい
	なごごたる	泣きたい	なごごたれば泣け
	なわない	縄をなう	なわないどんな、もうおらっさん
	なば	きのこ	多良岳さん、なばといぎゃいこい
	なんご (おひと)	お手玉	歌とともに投げて遊んだ
+	なおす (なわす)	片づける	おもちゃばなおしんしゃい
	なんかかる	よりかかる	おぶたかけん、なんかかんしゃんな
+	なーい	はーい	「おんさんなた」「なーい」
	なきゃ	中	なきゃ、はいんしゃい
	なんじゃいろ	何か	そこになんじゃいろおるばい
	なごうなる	長くなる	なごなるけん、かえろ
	なんでんかんでん	なにもかも	なんでんかんでんうっくえた
	なしてん	どうしても	なしてんゆうてくれんね
	ないなっとん	何かしら	あるもんばないなっとん持ってけ
	なまん～せんば	一生懸命頑張らんば	なまん勉強せんばとおらんばい
	なましか	熟れてない 煮えてない	こんうりはまーだなましか
*	ないごつ	何事	ないごつなー
*	ないどん	しかし だけれども	そぎゃんないどん
に	によとる	にあってる	そん服 によとる
	にがね	お尻のできもの	にがねはいたかね
	にだめく にやめく にやらしか	天気が悪くてうっとうしい	雨ん降りそうで、にだめくねー
	にんぎょもく	マキの実	赤い実を食べる
	にゃーた	泣いた	はがゆうしてにゃーた
	にくじ	意地悪	にくじばっかいすんな
*	～にき	そば 付近	あんたがえんにき
*	にめ (によい)	におい	よかにめんしよる
ぬ+	ぬっか	温かい	今日はぬっかねー
	ぬすくる	なすりつける	汚れた手でぬすくった
	ぬくむっと	温める	おかずばぬくめんしゃい
+	ぬっぺじる	里芋、ニンジン、こんにゃく・豆腐揚げなどを小さく切って炊いて、とろみをつけた汁 (法事等に作る)	ぬっぺじるは寒か日によかねー
*	ぬらいくらい	のらりくらり	
*	ぬる (ぬっ)	寝る	もうぬっとね
ね	ねこまんま	汁かけご飯	ねこまんまんくいかたばしよる

	ねえこまる	土の中に練りこまる	田んぼ等の柔らかい土の中に埋まる
+	ねおる	病気になって寝付く	ねおっとんしゃるけん見舞いに行こう
	ねずむ	つねる	ねずまれて痛かった
	ねったくる	混ぜてこねる	はったいこをねったくった
	ねぶる	なめる	ねぶってみんしゃい
+	ねまる	腐る、酸化して食べられない	ねまったおめし、くうな
	ねさみゃ	ねたばかり	ねさみゃ起こされた
	ね一きらん	眠れない	目が覚めてね一きらん
*	ねたろうか	麴などの発酵の様子	
*	ねつつ (き)	近所のきわめて近いところ	
*	ねばし	真綿	
*	ねっからん	最低	ぎゃんこともでけじ、ねっからんたい
の+	のまい	ね、おまえさん (あなた)	行こごたったい、のまい
	のぼすつと	調子んよかもん	あんまいのぼすんな
	のふぞか	野蛮な	のふぞかこつばせんと
	のんきゅう	飴	あまかのんきゅう
*	のーた	なわをなつた	
*	のーだ	飲んだ	お茶のーだね
*	のぐー	拭く	いっこぼしたんばのぐえ
は+	はっちゃん	さつまいも	はっちゃんめしのうまかー
	ばちかぶる	罰受ける	そぎゃんこというたら、ばちかぶっぞ
+	～ばい	～よ	よかばい
	はがいか	くやしい	負けてはがいかね
	はぶつっ	ふてくされる	ごっといはぶつつとばい
	はえとる	草が出ている	草んはえとっけんぬけ
	はずんどる	にぎわっとる	打ち上げ、はずんどるね
	ばんこ	広い腰掛	ばんこに座って夕涼み
	～はた (井戸んはた)	そば 付近	柿木んはたに埋めた
	はわく	掃く	たたみばはわきんしゃい
	はたげる	足を広げる	水たまりは、はたげてとおれ
	はなたれ	鼻水たれ	こまんかときゃはなたれやった
	はげびんちょ	はげ	いんま、はげびんちょになっぞ
	はだら	魚 (さっぱ、ままかり)	はだらのどっさいつれるとばい
	はつじょろさん	初盆の精霊さん	はつじょろさんな13日から参るばい
	はっちゃんがま	サツマイモ貯蔵庫	穴掘って籾殻入れてはっちゃんがま
	はしいごろ	かけっこ	はしいごろしておもしろかったね
	はっば	発破 火薬で石を割る	丁場で発破しよる
	はみきり	牛のえさを切る大きな鉄刀	薬をはみきりで切って牛にやる
	はみ	餌	牛にはみば食わせろ



	はらんふとうなった	妊娠した	はらんふとうなって きばれん
	はってく	行ってしまう	はらかいてはってかした
	はいかかれる	怒られる	ひどう、はいかかれたばい
	はよせろ	早くしなさい	まちったはよせろ
*	はまって (しあえる)	身ごしらえする、清掃、本腰を入れる	
*	～ばっかい	～ばかり	おいばっかい怒られる
*	ばたぐるう	あばれる	そぎゃんばたぐるうな
*	～ばいね (にゃ)	～だよね	そぎゃんばいね
ひ	ひょうげる (ひょうげもん) ひょうつかす	ふざける、おどける、わらわ	ひょうげもんのふりして、ほんなこつ、まじめか人ばい
	ひよすきん	ひょうげもん	あん先生はひよすきんばい
+	ひやかた (~なる)	寒かった	北風ん吹いてひやかたー
	ひんねる	寝てしまう	授業中にひんねとったばい
	ひだるか (ひもしかひもじか)	おなかが減った	ひだりゅうしてたまらんかった
	ひらくち	マムシ	ひらくちは、毒んあっとぞ
	ひわ	枇杷	ひわん うれた
	びんた	ほっぺた	びんたんはれた
	ひばれ	生後33日、床上げ	やっとひばれんきた、 (最近は葬式時の弁当も言う)
	ひとぎ(もち)	お祝いのもち投げ	ひとぎもちばひろいにいこい
	ひゆうとい	日雇い賃金働き	ひゆうといばして子ば育てたい
	ひけしぼう	いくじなし	おうどぼうのひけしぼう
	びっしゃげる	押しつぶされる	豆腐ば落としてびっしゃげた
	ひとずっ	飛び出る	くしゃみのひと出た
	ひっかける	欠ける	歯のひっかけた
	びっくい	びっくり	びっくいしたー
	ひまねる	時間がかかる	ひまねったらいっちょかるっばい
	びんちょ	傷跡	びんちょんのこつとる
	びっし	小さいイカ	夜さい、びっし取りに行こうか
	ひよんなこつ	変なこと	ひよんなこつばっかい言うな
	ひってきた	潮が引いてきた	浜んひってきたけんきゅー掘りいこい
	ひして	一日中	はっちゃんほりにひしてかかった
	ひるまで	午前	昼までに済まそう
	ひるかい	午後	昼かいきんしゃい
	ひらくそ	できもの	頭にひらくそのできた
	ひんぬぐるっと	脱げてしまう	靴のひんぬげた
	ひゃある	入る	風呂にひゃありんしゃい

*	ひざたつる	正座する	
*	ひとこし	ちょっと 短時間	
*	ひとろし、ふとろし	半日	ひとろしきばったばい
*	ひゃー	灰	ひゃーばどけろ
*	ひゃー	ハエ	ひゃーの飛んでやぐらしか
*	ひよかつと	急に 突然	ひよかつと思いだした
*	ひやがい	昼	もう、ひやがいばい
*	ひんがひん	毎日	ひんがひんに言わると
ふ	ふせ	つぎあて	母ちゃんがふせてくんしゃった
+	ふな	かぼちゃ	ブナの煮つけ
	ふとうなる	大きくなる	ふとなったらよかよめごになるばい
	ふゆみなし	なまけもん	ふゆみなしや、いらん
	ふげんしゃ	裕福な人	じえんもちん、ふげんしゃたい
+	ふうけもん	怠け者 ばかたれ	こん、ふうけもんがー
+	ふつ	よもぎ	春のお彼岸は、ふつもち作ろう
	ふか	さめ	ふかん、泳ぎよった
	ふうわん	渦にいる大きな巻貝	ふうわんなサザエに似とるね
	ふんみゃになる (ふんまわけ)	ご馳走になる、振舞いをうける	ふんみゃによばれたけん、いこか
	ふるっとんせん	ちっとも来ない、気配もせん	こんごろは、ふるっとんせんばい
+	ふうぞばな	れんげの花	牛んはみにふうぞ花ば取りに行こい
	ふんしゃぐ	踏みつぶされる	ゆうゆんふんしゃがれた
	ふんたぐられた	踏まれた	いのししに畑ばふんたぐられた
*	ふうけた	ばかげた	ふうけたこつばゆうな
*	ふうずき	ほうずき	中の種を取り、口の中に入れて拭いた
*	ふうべた (びんた)	ほほ	
*	ぶえん	生魚 (塩干物でない)	
*	ふとか	太い 大きい	
*	ふべんなか (ととしか)	気がきかない、不器用な	
へ+	へぼ、へご	とんぼ	赤へごの飛んどる
	へっちん	便所	昔のへっちんは家の外ばい
	へこ	ふんどし	へこ持ってこいと言われ分からんやった
	へきんこし	背中の中当たり	へきんこしあたって
+	へぐら	炊きスス	顔にへぐらのついとる
	べちゃ	めんこ	べちゃであそぼー
	へぐらし	残業、おそじまい	今日もへぐらしばい
	べらい、べらーと	全部	べらーとはっちゃん畑たい
	べったい	たくさん	べったい食べんしゃい

	へご	シダの葉	お正月に鏡餅に飾る
*	へーどる (へーどっ)	干している	洗たくもんばへーどって
ほ+	ほんなこつ (て)	本当 (に)	ほんなこつ、見たとよ
	ほとめく	歓迎する、大事にする	あぎゃんほとめかれたら嬉しかねー
	ほとびる (びらかす)	ふやける、ふやかす	水につけてほとびらかす
	ほどく	解く	帯をほどく
	ぼいしん	袖なし綿入れはんてん	ぼいしんはよかねー
+	ほけ	湯気	釜からほけの出よる
	ほげる	穴が開く	あぜのあっちこっちほげとる
	ほいぎゃ	堀りに	貝ほいぎゃいこか
	ぼっさん	お坊さん	ぼっさんな盆参りにこらす
	ほうじゃ	巻貝、びな	ほうじゃは湯がいてしっばば叩いて上からツン抜いてたぶっとばい
	ほうびゃ	幼馴染み、遊び相手	よかほうびゃのおらす
	ぼんくりゃ	ぼうとしてる	ゆっくりたい、そいもよかたい
	ほーとる	這っている	でんでんむしのほーとる
	ほとくなか	うまくできない 融通がきかん	なんでんほとくなか
	ほいなぐっと	ほおり投げる	そいばほいなげてくんしゃい
	ほたくる	放り投げる	牛小屋にほたくっぞ
	ほいこむ	投げ入れる	なんでんかんでんほいこむ
*	ほねやみ	過労で病気になること	ほねやみしとらす
*	ほめく	蒸し暑いこと	今日はほめくねー
ま+	まっと (まちっと)	もう少し、もっと	まちっと頑張れ
	まめんなか	こまめ	まめんなか子たい
	またぐら	股の内側	股座に座る
	まんじゅうんは	カタラの葉、サルトリイバラの葉	まんじゅうを作るとき下に敷くもの
	まっぼし	真正面	雲仙のまっぼし見える
	まきな	白菜	畑行ってまきなば取ってこい
*	まぜんなる	じゃまになる	
*	まぜくる (まぜくっ)	かきまわす	そぎゃんまぜくんな
*	まつんこんず	まつかさ	
*	まっと (まちっと)	もっと	まっとくんしゃい
*	まばいか	まぶしい	おひさんのまばいかー
み	みんしゃい	見て	こっちみんしゃい
+	みたむなか	みっともない	みたむなかがっこう
	みそっかす	小さい子	おどみや、みそっかすたい
	みぞか	可愛い	みぞか子のおる
+	みぞがる	かわいがる	じいちゃんからみぞがられた

	みそぐら	みそを貯蔵する部屋	暗かみそぐらはえすか
	みせびらかす	見せて自慢する	よかきもんばいと見せびらかす
	みってきた	潮が満ちてきた	川んみってきたけん泳ぎいこい
	みみんご	耳垢	みみんごとってくんしゃい
*	みかかい	見た通り	
*	みちびき (どん)	嫁方の媒酌人	
*	みっかみゃい	葬式の後、寺院へのお礼参り	
*	みゃーにち	毎日 (ひんがひん)	
む	むこづら	額、おでこ	むこづらばひどう打った
め	めご	竹で編んだ担いかご	めごいのうて畑さん行くばい
	めんたま	目玉	目ん玉んひっとずっごたる
	めんちょかける	ねらう	めんちょかけて、ねらえ
	めさまし	おやつ	通夜などの時にだすおやつ
*	めっちゃ	めったに、まれに	
*	めとんご	目もらい	
も*	もとえ	本家	
*	もや (もようて)	共有、共同	
*	もろくる (もろくっ)	固まる。ひとかたまりになる、群がる	
	もぐらかす	しわくちゃに丸め込む	そぎゃん、もぐらかすな
	もぞわいか (もぞわ いか)	くすぐったい もぞもぞする	尻んあたりのもぞわいか
	ももど	足のふともも	ももどんふとさー
	もろたばい	もらいました	竹ん子、もろたばい
や+	やぐらしか	うるさい めんどくさい	こん子、やぐらしか
	やわなか	大変しんどい、一筋縄ではい かない	やわなか人のおらす
	やくあせん	役に立たない	いっちょんやくあせん
	やこ	キツネ	やこにだまされたって聞いたばい
	やも	やまもも	やもはうまかねー
	やまこぶ	蜘蛛	やまこぶの糸はりよった
	やぼくら(くさやぼ)	草の生い茂ったところ	やぼくらにゃ、くちなわんおるばい
	やーらしか	可愛い	赤ちゃんのやーらしか
	やかましか	うるさい	やかましかー、いっとき黙っとれ
	やんぎ	やぎ	
	やいばやし	たいそう あおりたてる	やいばやしゆうな
	やいや	あいたしもうた ありゃまあ	やいや、かんにんね
*	やいと (やーと)	おきゅう	
*	やーて	飽いて、焼いて、あいて	
*	やーまちした	けがした	

*	やっばい	やはり、やっぱり	
*	やきもん	陶磁器	
ゆ	ゆうゆん	全部	ゆうゆうんなかごとなった
	ゆうたごつ	言った通り	ゆうたごつしんしゃい
*	ゆうなる(ゆうなっ)	病気やけがが回復すること	
	ゆとい(り)もち	つきたての湯にいれたもち	すすりもち、醤油、大根おろしで食す
	ゆたぶ	野生イチジク	ゆたぶは白か汁の出るよ
*	ゆっくい	ゆっくり	
*	ゆり、ゆい	地震	
*	ゆる(ゆっ)(える)	もらう	
よ	よめご、よめくさん	お嫁さん	おいげん嫁ごはよか人ばい
	よ(っ)そわしか	汚らしい	おっちゃけたもんな食うな、よっそわしかばい
+	よんによ	たくさん	米のよんによ取れた
	よんによ(にや)こつ	いらんこと	よんによこつゆうな
	よわくそ	弱虫	そぎゃんよわくそでどぎゃんすっと
	よっこいしょ	どっこいしょ	(腰掛にかけるとき)よっこいしょ
+	よんけろ(のんけろ)	どけろ	そこ、よんけろ
+	ようらっと	こっそりと そっと	ようらっとかぶせんしゃい
+	よさい(よさり)	夜	よさいにうろつくな
+	よさいさみや	夕方	よさいさみやなったけん、帰るばい
	よーいどして	やっと	よーいどして来たばい
	ようかちゆび	丁度いいくらい	ようかちゆびしんしゃい
	～よらす(おらす)	～している	食べよらす
	よがんだ	歪んだ	線のよがんでしもた
	よそもん	よその人 知らない人	見たこたなかけん、よそもんじゃろ
	よごえはっちょう	夜出てくる怖い鳥	夜騒いでると出てくるといって脅された 夜声八丁?よごえはっちょうに連れていかるっとばい
	よか	良い、りっぱな、いいよ	よかよか
*	よかしこ	いいと思うだけ	よかしこ持ってけ
	よかろ	いいでしょ(う?)	
*	よくう(よこう)	休憩する	
*	よせ	他所へ	
ら*	らっか	楽な	
*	らっかしよ	落花生	
	らちゃあかん	役にたたない わからない	
り*	りこうか	かしこい	

る			
れ			
ろ*	ろくすっぽ	ろくに、ろくろく	
*	ろくべえ（一）	サツマイモの粉で作ったうどん状の食べ物	
わ	わっか	若い	わっかもんにやかなわん
	わい(りゃ)	あなた 君	わりゃ どこんもんな
	わる一た	笑った	よう、わる一たね
	わまわし	竹ノ輪を竹差しで回すあそび	輪回しは面白かねー
	わらびな	わらび	わらびなのどっさいおえとる
	わいねん	あなたの家	わいねん山はどこんたいね
*	わく	のこぎりでひく	
*	わたまし	新築祝い 仏壇購入祝い	
*	わやく	いたずら	
*	わんず	石垣の穴	
*	わんざっと	わざと	
+	郷土誌と収集した言語が同じだったもの		
*	新小長井郷土誌のみ記載されてる言語（平成17年 神代克彦氏編纂）		
無印	独自に収集したもの		